

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DIGITAL

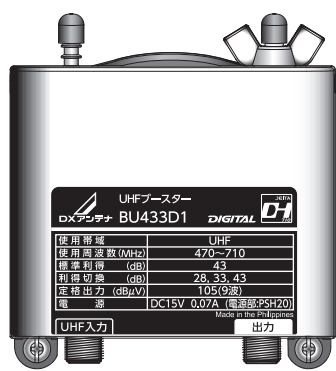
家庭用ブースター

UHF 470～710MHz 増幅用
前置ブースター用給電スイッチ付
DC15V電源重畳方式

BU433D1

UHF 33dB/43dB共用形

増幅部 (屋外・屋内用)



電源部 (屋内用)



ケーブルテレビとFM放送には使用できません。

付属品

防水キャップ ……2個

F-5接栓リング付 ……4個
(5C相当ケーブル用)

■ブースターの効果について (知っておいていただきたいこと)

このような場合に **効果があります**

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

このような場合、ブースターを使用しても **効果がありません**

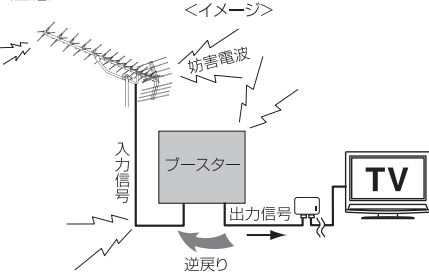
- 電波の受信品質が低い

例として、
・視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けている
・ブースターを接続する前の方がよく映っていた
・朝方で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください

注意 ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けないと、自分の家やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実に行なう
- 入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなることがあります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		機器の分解禁止		水ぬれ禁止		接触禁止		一般的な禁止事項		指示を守る
--	----------	--	---------	--	-------	--	------	--	----------	--	-------

警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

テレビ受信工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。



製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。



ブースター電源部を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナやテレビなどと接続しているケーブルははずす
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



製品の上に乗らない
こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴り出したら、製品には触れない
感電の原因となります。



以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・ぐらついたり振動したりする場所
・傾いた場所



煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用しない
火災や感電の原因となります。すぐに、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店・工事店に修理をご相談ください。



ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。
・直射日光の当たる場所
・放熱機能のないボックス内
・屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
・湿気やほこりの多い場所
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
・油煙や湯気があがる場所



内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない
火災や感電の原因となります。



製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。



電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
ゴミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。



製品にテールクロスやカーテン等の燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない
熱がこもり、火災の原因となります。



電源コードを傷ついたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない
また、重いものをせたり、加熱したり(熱器具に近づける)。引っ張ったりしない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

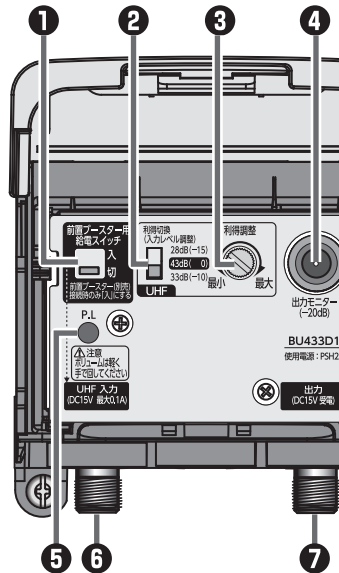


お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない
塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。



1 各部の名称と機能

■増幅部



カバー
(カバー下側のウラにあるツマミをつまむとロックがはずれます。) …作業終了後、バチンと音が鳴るまで閉めてください。

壁面取付用木ネジ

増幅部の説明

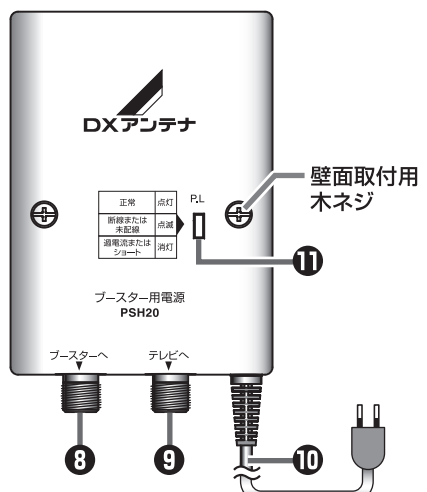
- 1 前置ブースター用給電スイッチ**
増幅部とUHFアンテナ間に前置ブースターを接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畳方式の前置ブースターの場合)
※ 出荷時: 切
- 2 利得切換(入力レベル調整)スイッチ**
アンテナからの信号を増幅する際の利得を選択します。
※ 出荷時:
 UHF ……………33dB(～10)
- 3 利得調整ボリューム**
各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。
※ 出荷時: 利得最大
※ ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)
- 4 出力モニター端子(～20dB)**
レベルチェッカー等を用いて調整をする場合に使用します。
- 5 P.L.(パイロットランプ)**
電源を供給すると点灯します。
- 6 UHF入力端子**
UHFアンテナに接続します。
 ①を「入」にするとUHF前置ブースターに電源を供給できます。
- 7 出力端子**
 ⑧と接続します。
増幅された信号が出力されます。



注意

- 前置ブースターを接続しない場合は必ず①を「切」にしてください。「入」で使用すると、本製品が動作せず、故障の原因となります。
- ⑥の入力端子に別売のアッテネーター(減衰器)を接続する場合は、必ず通電仕様のものを使用してください。
- スイッチを切り換える際は切換操作を数回行ない、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接触不良の原因となります。

■電源部



電源部の説明

- 8 ブースターへ**
 ⑦と接続します。増幅された信号が入力されます。同時に増幅部へ電源を供給します。
- 9 テレビへ**
テレビと接続します。増幅された信号をテレビ側へ出力します。
- 10 電源コード**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行います。
※パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。
- 11 P.L.(パイロットランプ)**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むと点滅し、同軸ケーブルを増幅部に接続すると、点灯します。同軸ケーブルがショートや断線していると、下記のように光でお知らせします。

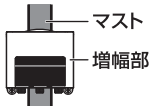
【状態】 【お知らせ】

正常	点灯
断線または未配線	点滅
過電流またはショート	消灯

※点滅・消灯のときはウラ面「⑩」うまく映らないときは「⑩」をご覧ください。

2 取り付ける

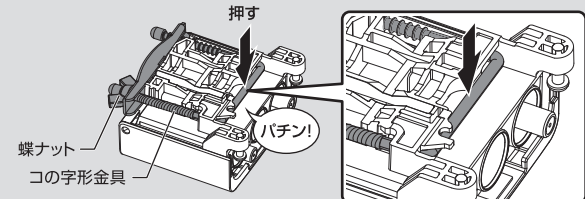
垂直マストに取り付ける



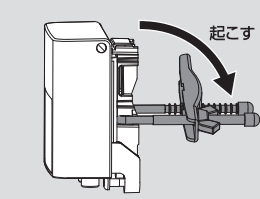
取付可能な場所と取り付けかた	増幅部	電源部
	屋内・屋外	屋内のみ
	壁面取付・ステンレスバンドによる取付・壁面取付	壁面取付、または据え置き

1 コの字形金具をはすす

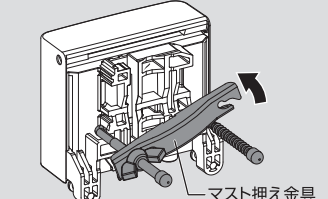
金具がはずれにくい場合は蝶ナットを少し緩めてください。



2 コの字形金具を90°起こす

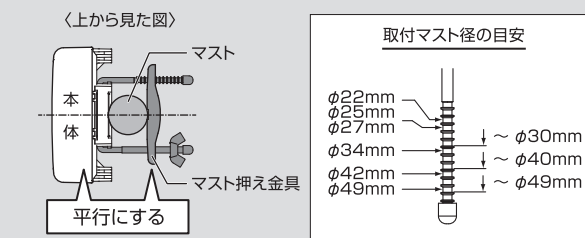


3 マスト押え金具の一方(右側)をはすす



4 本体とマスト押え金具でマストをはさむ

本体は入出力端子が下向きになるように取り付けてください。



5 マスト押え金具をしっかりと引っ掛け、蝶ナットをしっかりと締め付ける

マスト押え金具を矢印の方向にスライドして、奥までしっかり引っ掛けてください。
●隙間があると脱落や事故の原因になります。

その後、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。 [締付トルク: 1～1.5N・m]

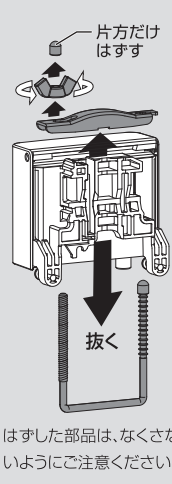


水平マストに取り付ける

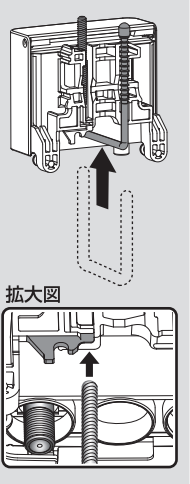


コの字形金具を付け換えると、水平マストにも取り付けできます。付け換え手順は下記をご覧ください。

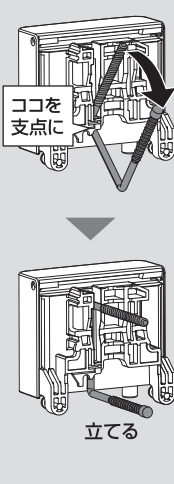
1 コの字形金具をはすす



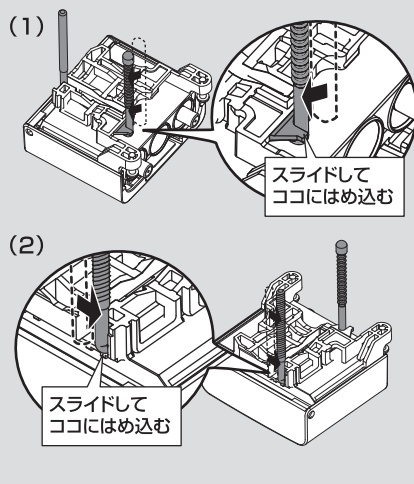
2 差し込む



3 回転させて起こす

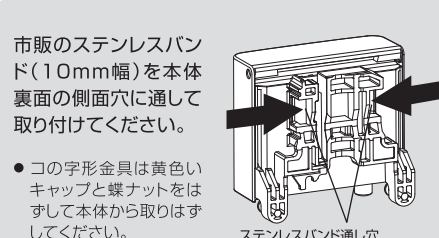


4 固定する

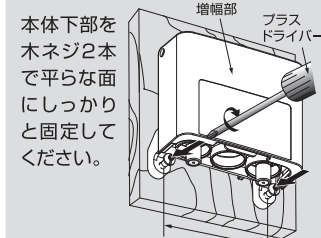


上記「垂直マストに取り付ける」④、⑤を参考に、マストへ取り付けてください。

ステンレスバンドで取り付ける
(φ49mmを超える垂直マストに取り付ける場合)



板壁へ取り付け



電源部 板壁へ取り付け

